平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名　株式会社 フュートレック　　上場取引所　東
コード番号　2468　URL http://www.fuetrek.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）藤木　英幸
問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長　（氏名）西田　明弘　TEL 06-4806-3112
四半期報告書提出予定日　平成28年8月9日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	854	47.0	124	—	121	—	95	—
28年3月期第1四半期	580	87.0	△151	—	△156	—	△119	—

（注）包括利益　29年3月期第1四半期　87百万円（—%）　28年3月期第1四半期　△116百万円（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	10.31	10.29
28年3月期第1四半期	△12.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,228	3,400	61.3
28年3月期	5,450	3,318	57.4

（参考）自己資本　29年3月期第1四半期　3,206百万円　28年3月期　3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	15.5	20	—	20	—	0	—	0.00
通期	3,700	△4.3	120	△74.4	110	△75.9	50	△83.9	5.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無
詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	9,459,200 株	28年3月期	9,459,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	146,400 株	28年3月期	146,400 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	9,312,800 株	28年3月期1Q	9,312,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出・生産はほぼ横ばいで推移しており個人消費の伸び悩みが長期化しているなか、英国のＥＵ離脱による急速な円高及び株価下落に見られるように、先行きの不透明感が高まっております。また、日本国内のインバウンド市場については、急拡大局面は一段落したものの、アジア新興国を中心に引き続き拡大が見込まれております。

このような環境のなか、当社グループは、「Ｒｅ－Ｂｕｉｌｔ（リ・ビルト）の総括」として、新たな柱となる事業の創出と推進に努めてまいりました。

音声認識事業においては、従来の自動車関連業界及びインバウンド市場関連等へ、事業の収益化に向けた活動を積極的に展開いたしました。具体的な成果として、当第１四半期連結累計期間に、音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されました。また新しい事業への取り組みとして、ＮＴＴアイティ株式会社との業務提携により、相互が保有する音声認識関連製品を組み合わせて新たな製品やサービスの開発と展開や、ヤマハ株式会社と共同研究により自然な音声対話システムの開発に着手いたしました。

翻訳事業においては、株式会社メディア総合研究所の人手による翻訳事業の拡販とともに、「機械翻訳による言語バリアフリーの実現」を目指して、株式会社みらい翻訳との協業や、当社の連結子会社である株式会社ＡＴＲ－Ｔｒｅｋが総務省により採択された「多言語音声翻訳の利活用に関する開発・実証」への共同提案等、翻訳事業の拡大に努めてまいりました。当第１四半期連結累計期間においては、人手による翻訳は前年同四半期に比して案件数がやや減少しましたが、音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されました。

インバウンド市場関連においては、インバウンド向けのグループ商材の情報共有と、各商材を連携させた効率の良い営業活動を展開いたしました。また、インバウンド商材の拡充を目的として、株式会社アドホックの事業を会社分割(簡易吸収分割)により当社が承継することといたしました。

当社グループの当第１四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は854百万円（前年同四半期比47.0％増）、営業利益は124百万円（前年同四半期は営業損失151百万円）、経常利益は121百万円（前年同四半期は経常損失156百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失119百万円）となりました。

セグメントごとの当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第16期 第１四半期連結累計期間 （百万円）	第17期 第１四半期連結累計期間 （百万円）	増減 （百万円）
ライセンス事業	249	515	265
翻訳事業	169	171	1
その他事業	161	166	5
売上高合計	580	854	273

① ライセンス事業（音声認識・ＵＩソリューション事業分野、ＣＲＭソリューション事業分野　他）

売上高は515百万円（前年同四半期比106.3％増）となりました。

音声認識・ＵＩソリューション事業分野の売上高は460百万円（同161.2％増）となりました。前第１四半期連結累計期間と比較し、主に音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されたことによるものであります。

ＣＲＭソリューション事業分野の売上高は41百万円（同14.9％減）となりました。前第１四半期連結累計期間と比較し、主に利用料収入及びサポート業務による収入が減少したことによるものであります。

② 翻訳事業（翻訳事業分野）

売上高は171百万円（同1.1％増）となりました。前第１四半期連結累計期間と比較し、人手による翻訳については受託案件数の減少により売上高は減少しましたが、音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されたことにより、翻訳事業分野全体としてはほぼ前年同四半期並みとなりました。

③ その他事業（基盤事業分野、書き起こし事業分野、ＩＴ事業分野、映像事業分野、国際事業分野　他）

売上高は166百万円（同3.4％増）となりました。前第１四半期連結累計期間と比較し、基盤事業分野、ＩＴ事業分野及び国際事業分野においては受託業務の増加により売上高は増加しましたが、映像事業分野では受託業務の減少により売上高は減少いたしました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ222百万円減少し5,228百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が4,022百万円（前連結会計年度末比191百万円減）、固定資産が1,205百万円（同30百万円減）であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少106百万円、受取手形及び売掛金の減少106百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、ソフトウエアの減少14百万円、投資有価証券の減少10百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が823百万円（同293百万円減）、固定負債が1,003百万円（同11百万円減）であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少116百万円、未払法人税等の減少56百万円、流動負債のその他の減少94百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、繰延税金負債の減少８百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の増加95百万円等により3,400百万円（同81百万円増）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の実績は、高利益率案件である、音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されたため、平成28年５月10日公表の第２四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想に比して、その進捗率が高くなっております。

第２四半期連結累計期間及び通期連結業績につきましては、予想を修正しておりませんが、当第１四半期連結累計期間の業績等を踏まえ現在精査中であり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を当第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

当第１四半期連結累計期間において新たな建物附属設備及び構築物の取得はないため、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成28年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530,819	3,423,918
受取手形及び売掛金	440,020	333,454
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	39,255	75,622
その他	106,931	91,021
貸倒引当金	△2,762	△1,609
流動資産合計	4,214,265	4,022,408
固定資産		
有形固定資産	75,388	82,069
無形固定資産		
のれん	205,485	197,705
ソフトウエア	263,120	248,192
無形固定資産合計	468,605	445,897
投資その他の資産		
投資有価証券	605,244	594,415
その他	111,582	105,371
貸倒引当金	△24,238	△22,140
投資その他の資産合計	692,588	677,646
固定資産合計	1,236,582	1,205,613
資産合計	5,450,847	5,228,021
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,445	84,589
1年内返済予定の長期借入金	510,008	509,992
未払法人税等	75,830	19,669
賞与引当金	45,786	20,542
その他	283,792	188,921
流動負債合計	1,116,864	823,714
固定負債		
長期借入金	1,002,486	1,000,000
繰延税金負債	12,739	3,946
固定負債合計	1,015,225	1,003,946
負債合計	2,132,089	1,827,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	903,938	903,938
利益剰余金	1,550,564	1,646,545
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	3,101,109	3,197,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,020	9,660
その他の包括利益累計額合計	30,020	9,660
新株予約権	8,978	11,104
非支配株主持分	178,649	182,506
純資産合計	3,318,758	3,400,360
負債純資産合計	5,450,847	5,228,021

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
売上高	580,935	854,021
売上原価	382,919	367,283
売上総利益	198,015	486,738
販売費及び一般管理費	349,575	362,646
営業利益又は営業損失（△）	△151,559	124,091
営業外収益		
受取利息	698	161
受取配当金	3,600	3,190
助成金収入	1,984	－
貸倒引当金戻入額	－	2,098
その他	834	1,819
営業外収益合計	7,118	7,269
営業外費用		
支払利息	2,285	2,103
為替差損	－	1,599
持分法による投資損失	9,708	6,208
その他	124	124
営業外費用合計	12,119	10,037
経常利益又は経常損失（△）	△156,561	121,323
特別利益		
新株予約権戻入益	30,902	－
特別利益合計	30,902	－
特別損失		
事務所移転費用	500	－
特別損失合計	500	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△126,158	121,323
法人税、住民税及び事業税	1,183	22,411
法人税等調整額	△3,392	△9,280
法人税等合計	△2,209	13,131
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△123,949	108,191
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△4,391	12,211
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△119,557	95,980

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△123,949	108,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,531	△20,367
その他の包括利益合計	7,531	△20,367
四半期包括利益	△116,417	87,824
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,037	75,620
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,379	12,203

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。